

教科別授業改善プラン（社会科）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・キーワードを使ってノートにまとめることを繰り返し、社会科用語の定着が少しずつ図れてきた。
- ・児童が興味をもち、自分の考えがもてる課題を設定することで、自分の経験、資料、人々の願い、環境など学習したことを関連させて考察し、文章や図で表現できるようになってきた。

(2) 課題

- ・地名に関して地図帳で確認したが、等高線や地図記号の読み取りに関しては授業の中であまり取り上げる機会がなく、東京ベーシック・ドリルをさらに活用したい。
- ・学習の終わりに、社会科用語を使って学習感想やまとめを書くことにより重要用語を正しく使えるようになったが、定着までには至らなかった。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(観点別経年比較)

評価の記号は、平均正答率が目標値を「△…上回っている」「▼…下回っている」「≒…ほぼ同等」

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	観点別 ・知識・技能 ▼ ・社会的な思考・判断・表現 ▼ ・主体的に学習に取り組む態度 ▼	/	/
第5学年	観点別 ・知識・技能 △ ・社会的な思考・判断・表現 △ ・主体的に学習に取り組む態度 △	観点別 ・知識・技能 △ ・社会的な思考・判断・表現 △ ・主体的に学習に取り組む態度 △ (第4学年時)	/
第6学年	観点別 ・知識・技能 ≒ ・社会的な思考・判断・表現 ≒ ・主体的に学習に取り組む態度 ≒	観点別 ・知識・技能 △ ・社会的な思考・判断・表現 ▼ ・主体的に学習に取り組む態度 ▼ (第5学年時)	観点別 ・知識・技能 △ ・社会的な思考・判断・表現 △ ・主体的に学習に取り組む態度 △ (第4学年時)

(2) 分析

4年	正答率は全体的に目標値を下回っている。目標値を5~10ポイント以上下回る正答率を示した項目も多い。 ○店ではたらく人について、スーパーマーケットに見られる工夫を写真を基に考える問題に関しては、8ポイント上回っている。 ●市の様子について、地図を読み取ること（四方位の理解や土地利用の地図記号の理解）が目標値より13ポイント下回っている。正しく地図を読み取る力をつけていきたい。 ●市の様子の移り変わりについて、写真や年表、資料を見て、変化について読み取りや判断・表現が目標値より17ポイント下回っている。正しく資料を読み取る力をつけていきたい。
5年	正答率は概ね目標値と同じか、上回る項目が見られる。 ○ごみのしよりと利用について、目標値を最大14ポイント上回っている。特に廃棄物の処理にかかわる課題について資料を読み取る問題に関しては、高い正答率を示している。 ●くらしをささえる水について、飲料水の確保のためにダムが建設されているという問題で目標値より10ポイント下回っている。 ●資料を読み取り表現する問題で、無回答の児童が40%程度いる。読み取ったことを表現する力をつけていきたい。

6年	<p>正答率は概ね目標値と同じか、上回る項目、やや下回る項目が見られる。</p> <p>○世界の中の国土で、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の攻勢について、地図を基に考え表現する問題は目標値を15ポイント上回っている。資料を基に考察し、表現できている。</p> <p>●日本の国土と人々の暮らしについては、日本の主な地形の名称と位置、台風についての問題で目標値より10ポイント程度下回っている。</p> <p>●基本的な知識を問う問題での誤答が多く、領域によっては目標値より20ポイント程度下回っている。知識の定着を図れるようにしたい。</p>
----	--

3 重点課題

3年	<ul style="list-style-type: none"> ・地図上から、方位や地図記号、土地の様子を読み取ること。 ・授業で出てきたキーワードを使って文章を書くこと。 ・地図や資料から調べたこと、分かったことを整理してまとめること。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・方位や地図記号など地図を読み取るうえで基本的な技能を身に付けること。 ・正しく資料を読み取る力を身に付けること。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を丁寧に読み、内容を正しく理解すること。また、複数の資料を比較したり、関連付けたりして、資料を総合的に読み取ること。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科用語を習得し、重要語句を使って学習感想やまとめが書けるようにすること。 ・普段の授業から、教科書や資料集などの資料を丁寧に読み取る力を付け、書かれている内容を正しく理解すること。 ・複数の資料を比較したり関連付けたりして、総合的に読み取ること。

4 授業改善策

3年	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を使用し、方位や地図記号、土地の高低や土地利用について確認する活動を取り入れる。 ・学習感想やまとめを書く時、授業で出てきた重要語句を使用させ、知識を定着させる。 ・地図帳や資料を読み取る場面を設定する。地図や資料から読み取れることを全体で確認し、ねらいに沿ったまとめをする活動を取り入れる。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・地図記号と社会科用語は、復習したりミニテストをしたりして確実に理解させる。 ・地図上で説明させる際には、方角を用いさせるなど日常から使うように意識させる。 ・調べる活動を行う際に、資料から読み取る活動を多く取り入れる。 ・グラフを正確に読み取ることができるようになるまでは、表の軸は何を表しているか、単位は何かなどを先に指導してから、内容を読み取らせる。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を比較したり、関連付けたりして総合的に読み取る学習活動を多くする。また、読み取りの視点（縦軸は何か、横軸は何か、顕著な変化は何かなど）をもちグラフを見るよう指導する。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した重要語句を用いて、分かったことを自分の言葉でまとめる機会を増やす。 ・資料の読み取りが正確にできるよう、読み取りの視点を明確化し、必要な情報を収集できる力を身に付けさせる。 ・ワークシートやドリルパークを用いて、日本の国土の特徴について復習を行い、知識の定着を図る。
各学年 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の事項がしっかりと身に付くよう、東京ベーシック・ドリルを活用する。